

令和7年度

東大和市地域福祉審議会会議録

第3回 健康推進部会

東大和市健康福祉部

○A部会長 それでは、次第2の議事に移ります。

議事（1）「第2次東大和市健康増進計画令和6年度実施状況報告書（案）について」、事務局から説明をお願いいたします。これは審議事項となっております。

では、お願いします。

○事務局 事務局の石井です。私のほうからご説明させていただきます。

実施報告書（案）をご覧ください。

第2次健康増進計画の計画期間は、令和3年度から令和8年度の6年間となっております。

目次をお開きください。

報告書の構成についてご説明いたします。基本的な構成については、昨年度の報告書と同様となっております。計画の概要から始まり、評価指標の関連データ、そして実施状況調査結果の掲載となっております。

変更箇所につきましては、地域福祉審議会の答申抜粋ページを削除させていただきました。理由は、令和6年度から特段の事情がない限り計画策定年の前年、令和8年度の最終答申のみとなったことに伴います。

7ページをお開きください。

7ページから11ページにかけては、評価指標の関連データとして人口や世帯数などの基本データ、計画の各目標における成果指標関連のデータについて推移を掲載しております。

なお、各表中に特に記載のない限り、資料は多摩立川保健所が作成の北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集の令和6年度版から抜粋となっております。

続きまして、14ページをお開きください。

14ページ以降は実施状況調査結果の概要となっております。第2次健康増進計画では、健康都市の実現に向けた東大和市健康寿命延伸取組方針アクションプランと連動し、取組を推進していくこととしていることから、アクションプランに掲げる取組方針を計画の基本目標に対応させて、事業の実施状況評価を行っております。

17ページ以降に、各課が行った事業の実施状況、評価結果を掲載しております。

簡単ではございますが、令和6年度の実施状況報告書の概要説明は以上でございます。

○A部会長 ただいま「第2次東大和市健康増進計画令和6年度実施状況報告書（案）について」説明が終わりました。

このことについて、皆様の意見やご質問等を伺いたいと思います。

それでは、質問などがありましたらお願いします。

○B委員 9ページの健診等受診率というのがありますがけれども、7番ですね。大体半分もいかない状態、健康診査というのは基本的なことだと思うんですがけれども、半分もずっと今までいっていないわけですがけれども、やはり私は7割ぐらいいくのかなと思っていた

んですけれども、半分もいかないというのは、私自身も自分はやっていますけれども、健診を受けているんですけれども、なぜこの半分もいかないような状態なのか、その原因と  
いうか、その辺教えてもらいたいということと。

それから、（９）なんですけれども、特別会計当初予算は、まだ全体的にどんどん増えて  
いって、特に後期高齢者の毎年ずっと増えているわけですね。やはり、後期になればな  
るほど病気の発症が多くなるというのはよく分かります。これを少しでも少なくするには、  
予防医学の充実というのが非常に重要だと思うんですけれども、その２点についてまず  
伺いたいと思います。よろしくをお願いします。

**○事務局** まず１つ目のご質問について、石井のほうから回答させていただきます。

令和７年度の取組にはなるんですけれども、再勧奨通知の見直しを実施しております。  
見直し内容としましては、はがきサイズで見にくかったものを大きめサイズに変更して  
おります。また、対象の方を６つのセグメントに分けて、その対象者に合った通知文を送  
付することで分かりやすいよう工夫をしていると、主管課である保険年金課の職員に確認  
をしております。

対象者の分け方については、新規の対象になった方とか、昨年度受診したけれども今年  
受診していない方等、それを６つに分けて送っているそうです。

また、減少が続く理由としましては、人間ドックの助成金が多摩地域の中で東大和市は  
高いということから、人間ドックを受診して特定健診を受けない方が一定数いるのではな  
いかと考えております。

**○事務局** ２点目のご質問、後期高齢者のところで特別会計の部分ですけれども、これは  
主に医療費の部分ですとかそういったところが原因になっているところで、Ｂ委員のおっ  
しゃるとおり、やっぱり予防というところに力を入れていくということで、多分こちらの  
特別会計の予算というか金額のほうは、抑えられるんじゃないかなというところではあり  
ます。

１点目のご質問ともちょっと連動するところではあるんですけれども、まず特定健診と  
いうところが、通常ふだん通院されている方というのは、そっちで検査等をやっているの  
で、特定健診は必ず受けなくてもいいですというような、そういう案内が入ったりするも  
のですから、どうしてもそういう方は自分のかかりつけだったり、特定健診ですと受診で  
きる医療機関が限られてくるので、ふだんかかっている病院だと健診が受けられないとい  
うことで、受けないという方が一定数いらっしゃるというところで、やっぱりこのぐら  
いの数字になってしまうのかなというところと。

あとはこの健診の健康診査受診率という、この表の一番下のところですね、ここがまた  
３０．６％、さらにパーセンテージ低くなっているんですけれども、この対象になる方は  
主に生活保護を受給されている方、無保険の方になりますので、そういった方もやはり  
病気で通院中という方が多くいらっしゃるというところから、受診率が上がってこないの

かなというふうには思っております。

特定健診は40歳以上からになりますけれども、国のほうでもさらに例えば30歳とか20歳とか、もっと若いうちから取組をなさいたいということは言われていますので、そういったところも健康推進課のほうも考えながら、今後事業を進めていきたいなと思っております。

以上です。

**OB委員** 無料だからね、もっと受けてもいいと思うんですよね。本当に助かりますよ、無料だと。その点をやっぱり市のほうも強調して。要するに、今何でもものが高いこういう世の中でね、無料で受けられるということをもっともっと感謝しなきゃいけないんじゃないか、私自身は個人的には思うんで、ぜひそういう市のほうでもPRというか、原因とかを少し研究されて、少なくとも60%ぐらいまず第一目標でやるとか、何かそういうふうにしていただくとありがたいなと思います。

以上です。

**O事務局** ご意見ありがとうございます。

保険年金課のほうとも相談しながら進めていきたいというふうに思います。

**OA部会長** そのほかに何か。

**OC委員** 同じ9ページのこの妊娠届、新生児訪問なんですけれども、私は初めて今回こちらを担当しているから分からないですけれども、妊娠届出が493で、新生児訪問が471で、児童相談所受理件数319と書いてあると、何か全部連動しているように見えてしまうんですけれども。なので、470件のうち319人が児童相談所に行っているかのようにちょっと見えなくもないなと思うんですけれども、これを並列して載せている理由とかというのは何かあるのか、教えていただければと思います。

**O事務局** 石井のほうから回答いたします。

特に並列している理由というのはないです。今ご指摘いただいて、妊娠届出数と新生児訪問数というのは、健康推進課のほうのデータに基づいて示させていただいているんですが、児童相談所受理件数については、北多摩西部の資料を基に入れさせていただいているので、C委員のおっしゃるとおり、この人数のうちの319人というふうに見えてしまうというところはあると思います。それを踏まえて、こちらのほうで並列ではない表記の方法に変更する等検討してまいりたいと思います。ご指摘のほうありがとうございます。

以上です。

**OA部会長** ほかに何かご意見あれば。

**OB委員** すみません。先ほど紹介がありましたように、令和3年から8年度ということで、来年3月で終わるわけですよね。そうすると今度また新しいのができるんですよね。

推移なんかを見なきゃいけないので、このまま8年度はいいと思うんですけれども、今度新しいのをつくる際の検討課題ということで申し上げたいのは、率直に申し上げ例え

ば17ページをご覧になっていただいて、一般的にはイベントとか事業名が最初に来て、それから事業の概要等があって、それから担当課があって、関連する行政外の連絡協力先とか、それが普通で今までいろんなのを見てね。それから取組の内容もアイウエオかって書いてありまして、じゃ、アは何なのっていちいち上を見ないと、ここに書いてあれば、だから書けると思うんです。バーに記載できると思うんです。だからそういうふうに、評価の丸、二重丸はこれでしょうがないと思うんですけれども、取組の内容はこの欄の中に入れられるんじゃないかと思うんですよ。そういうふうにしたほうがやはり見やすいということも大事な点なので。

そういう一般的に今まで私も何度も見ているんですけれども、最初に担当課来るというのはあまりないですよ。それがいいのか、私の意見がいいかどうか分からないんですけれども、一つの意見として、次回の令和9年度からはちょっと、そのときの検討課題にしていただければありがたいなと、言い忘れるといけないので今申し上げました。失礼します。

**○事務局** ご意見ありがとうございます。

こころのほうの報告書も後でご説明いたしますが、健康のほうとこころのほうでそれぞれ表現が違う、順番が違うというところもあって見にくいのかなというところもありますので、また令和7年度の実施状況報告書をつくる際に検討してまいりたいと思います。

令和7年度の後、令和8年に令和7年度の実施状況をつくるので、そこでまたお示しをさせていただいて、令和9年度の計画を新しくするに当たっては、またこの部会を通して。

**○B委員** 意見じゃありませんけれども、参考にさせていただきたい。

**○事務局** 分かりました。参考にさせていただいて来年に活かしたいと思います。ありがとうございます。

**○A部会長** ほかに、大丈夫そうですか。

それでは、ほかにご意見がなければ、いただいた意見を反映させる方向で、文言等につきましては事務局に一任するというところでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

**○A部会長** ありがとうございます。それでは、異議なしということで、事務局に一任させていただきます。

次の議事に進みます。

議事(2)「その他」についてです。

東大和市自殺対策計画実施状況調査について(報告)、あと市民アンケート集計結果について(報告)、第4回健康推進部会の日程等について、事務局からそれぞれ説明をお願いいたします。

**○事務局** 事務局の石井です。

議事2の(2)「その他」、東大和市自殺対策計画実施状況調査についてご報告いたし

ます。

自殺対策計画についても、健康増進計画と同様、令和3年度から令和8年度を計画期間としております。

自殺対策計画の進行管理につきましては、計画書の中で地域ネットワークの構築として、仮称いのちを支える自殺対策会議の開催を掲げておりますが、新たに関係機関と会議体を設置し審議することではなく、健康増進計画と同様に自殺対策計画につきましても進行管理したい旨、昨年第2回地域福祉審議会全体会において報告したところでございます。今年度につきましても、本部会へは市の自殺対策の取組状況を報告し情報共有とさせていただきます。

では、自殺対策計画進捗確認シートをご用意ください。

地域における自殺対策の取組状況につきましては、厚生労働大臣指定法人の一般社団法人いのちを支える自殺対策推進センターが、各自治体における自殺対策の実施状況調査を行っております。各自治体、地域の取組を把握し、一体的に進行管理を行っております。

市では、各都道府県に設置されている自殺対策推進センターを通じて、自殺状況調査報告書を提出しており、この進捗確認シートにつきましても、地域自殺対策推進センターに提出したのとなっております。

シートにつきましては、計画の基本施策、重点施策に関する事業評価と、基本施策及び重点施策に対する各課で行った関連事業の事業評価について記載をしております。各事業の評価に当たっては、本来の各事業の目的ではなく、自殺対策の視点により評価を行っております。なお、シートの右上に各シートの項目が記載されております。

自殺対策計画進捗管理シートの報告については以上でございます。

続きまして、議事2、(2)「その他」、2点目ですね、市民アンケートの集計結果についてご報告いたします。

本日机上配付いたしました健康に関する市民意識調査報告書(案)及びこころの健康に関する市民アンケート調査の報告書(案)をご覧ください。

この報告書につきましては、目次から始まり調査概要、調査結果、アンケート調査票の順番で掲載されております。

調査結果については、前回の報告書を参考とし、今回のアンケート調査の集計結果を落とし込んでおります。集計方法につきましては、単純集計及びクロス集計を実施いたしました。クロス集計は、属性に係る質問と全問のクロス、選択した設問間におけるクロス集計を実施いたしました。

本来であれば、このアンケートの集計結果を委員の皆様にご提示させていただくところではあるんですが、集計票のページ数が大変多いことから、今回は報告書のみとさせていただきます。

この報告書(案)を作成するに当たりまして、委員の皆様のご意見をいただきたいと考

えております。グラフの種類ですとか記載文言等、内容を精査していただきまして、令和8年2月9日月曜日開催の第4回健康推進部会におきまして、ご意見をお願いしたいと思っております。ご意見いただきました内容を反映させていただいて、2月27日金曜日開催の第2回地域福祉審議会全体会において報告をしたいと考えております。

市民アンケートの報告案については以上でございます。

続いて、「その他」、3点目になります。第4回健康推進部会の日程等についてです。

令和7年12月26日付で通知させていただきましたが、改めてお知らせをいたします。

次回、第4回地域福祉審議会健康推進部会は、令和8年2月9日月曜日に、保健センターで午後7時半から開催予定となっております。

本日配付いたしました、市民アンケート調査の報告書に対する意見を皆様からいただきたいと、重複しますが考えております。その意見を報告書に反映し、全体会で共有となっております。

また、第2回地域福祉審議会全体会につきましても2月27日とお伝えしたところでございますが、会議棟ではなく保健センターで行う予定です。お間違えないようお願いしたいと思います。詳細につきましては、地域福祉課から通知が出ていると思いますので、ご確認いただきますようよろしくお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

**○A部会長** ありがとうございます。

ただいま説明が終わりました。このことについて、皆様の意見やご質問等ございますでしょうか。

**○事務局** 3点、今一気に説明をしてしまったんですけれども、まず事前に配付している自殺対策のほうの実施状況調査のほうで、何か皆様からお気づきの点とかご意見があればと思うのでお願いします。

**○A部会長** それではまず、自殺対策のこのシートのほうで何かご質問等あれば。

**○C委員** シート、大体丸とか二重丸とか達成できている項目が多いですけど、このネットワークが一番各部署がいろいろなことをやっていることをつないでいくという意味で一番の肝かと思うんですが、そこが調整困難というふうな記載になっておるんですが、具体的にはどのようなあたりに困難があるのかとかちょっとお聞きしたいなと思います。

**○事務局** 事務局の幸村です。

ご質問ありがとうございます。

こちらの計画策定当初、また別の会議体を設定をして、そこで自殺については別で話し合いをという方向性があったんですけれども、事務のほうで進めていく中で、別にしたときに、またちょっと重複する委員の方も数多くいらっしゃるしまして、そういった方々に対しては、やっぱり負担になってしまうかなというようなところですか。あとは、自殺ですと例えば警察とか消防とかというところも入ってくるのかなと思うんですけれども、

まず市内の中でももう少し規模を少し小さくして、関係部署同士でまず話し合いをというのを先にやったほうがいいのではないかというような、そういう話し合いがありまして、いのちを支える自殺対策会議というのは設定ができなかったというような評価になっております。

次の計画の段階で、またここをどういうふうに位置づけるかということも含めて、皆さんからまたご意見を今後いただいきたいなというふうに思っております。

他市の取組なんかも参考にしながら検討してまいりたいと思います。ありがとうございます。

以上です。

**〇〇委員** 追加でいいですか。

市内の連絡会みたいの何かあるという理解でよいでしょうか。

**〇事務局** この自殺対策だけに特化した市内連絡会というのは、まだ今設定できていないので、まずはそれを設定をするのか、同じようなテーマで開催している会議もごございますので、そういったところでこの自殺についても取り上げていただくのかということも今調整している状況です。

以上でございます。

**〇〇委員** ありがとうございます。

**〇A部会長** では、対策シートのほうはよろしいでしょうか。

では、次の市民アンケートの集計結果について、何かご意見等ございますでしょうか。

**〇事務局** 本日お配りしたこの市民意識調査、アンケート調査の報告書については、ちょっとボリュームもあるので、次回の2月9日の会議のときにまた皆さんからご意見をいただきたいと思うので、詳細というか中身については、そこまでに見てきていただきたいなと思うんですけども、先ほど説明した報告書のつくりですとか、見方とか、そういったところでもしご質問があればと思いますので、よろしくお願いたします。

**〇A部会長** どうでしょうか。よろしいでしょうかね。

特にないようなので、ご質問等なければ、よろしいですかね。

日程については大丈夫ですね。

それでは、ご意見等なければ、以上をもちまして第3回健康推進部会を閉会とさせていただきます。お疲れさまでした。